

YS.SR ニュールーフ

働き幅：364～455

生産工場：宮城村田工場

特 長

ニュールーフは馳式折版でありながらタイトフレームを必要とせず、短時間で葺きあげることが可能です。
新築の屋根にも使用でき、瓦棒葺きのカバールーフとしても活躍します。また、アーチ屋根にも対応致します。

用 途

工場・倉庫・体育館など幅広い用途に使用されます。

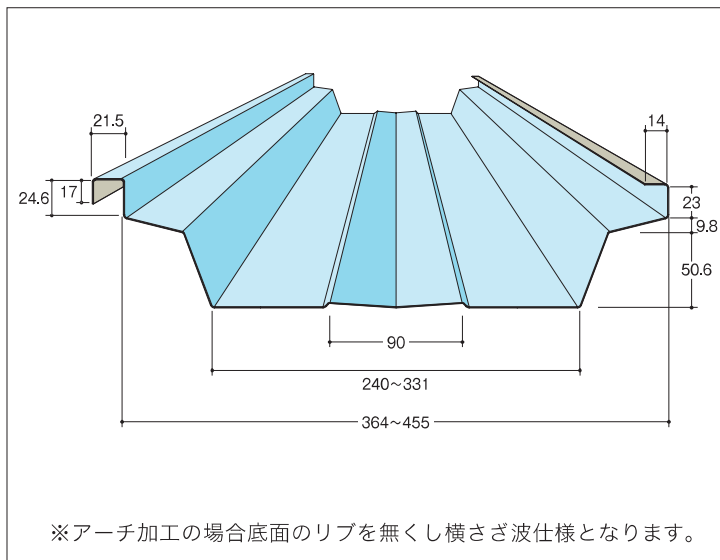
使用材料

ガルバリウム鋼板、フッ素樹脂塗装鋼板、その他。※特注色の納期については別途お問い合わせ下さい。

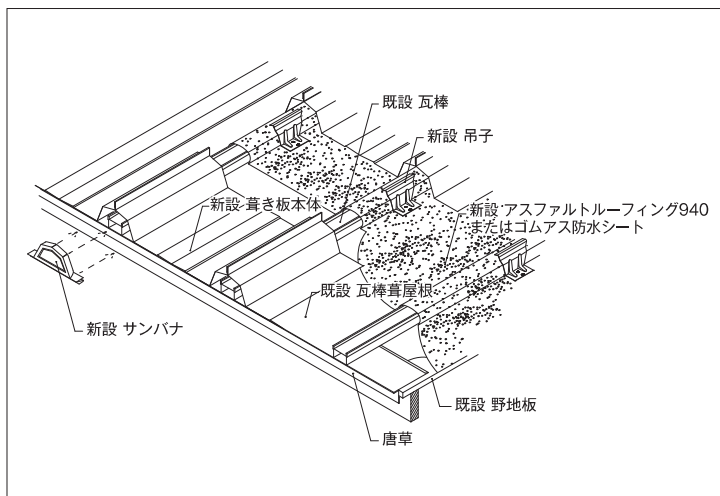
注意事項

折板の現場成型は、事前の予約が必要です。尚、現場成型料、遠距離の運搬費は別途かかりますのでその都度お問い合わせ下さい。
※アーチ加工の場合、Rの大きさ、板厚、断熱材の組合わせにより断熱材の損傷が発生する場合がありますので、お問い合わせ下さい。

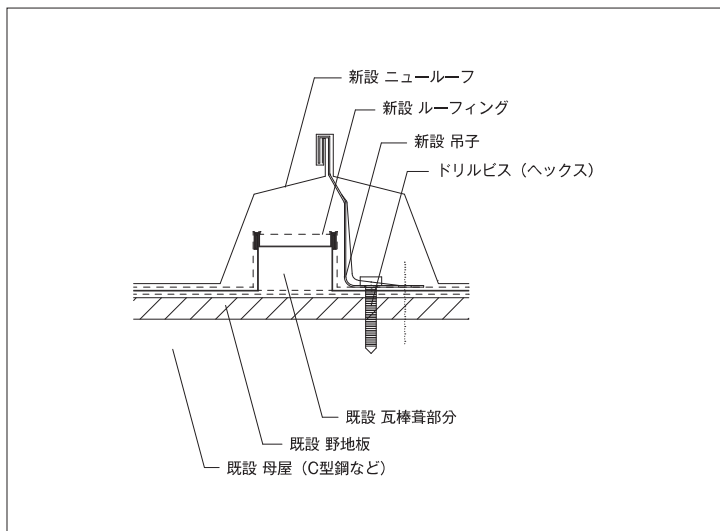
■ 本体主要寸法（単位：mm）



■ 構成図-1



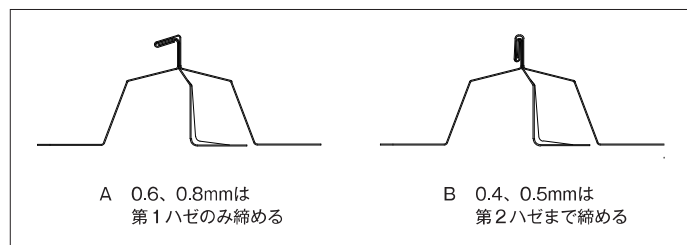
■ 構成図-2



■ 標準仕様

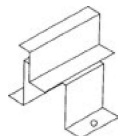
板 厚	0.4～0.8mm
働 き 幅	364～455mm
原 板 幅	610mm
勾 配	3/100以上
加工アーチ半径	15m以上
加工最小寸法	1500mm
断 熱 材	4～5mm（機械貼り）

■ 断面図



■ 付属部材

一般吊子



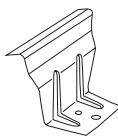
唐草（加工）



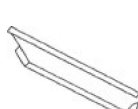
サンパナ



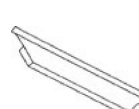
片足吊子



水上面戸



水止面戸



■ 断面性能

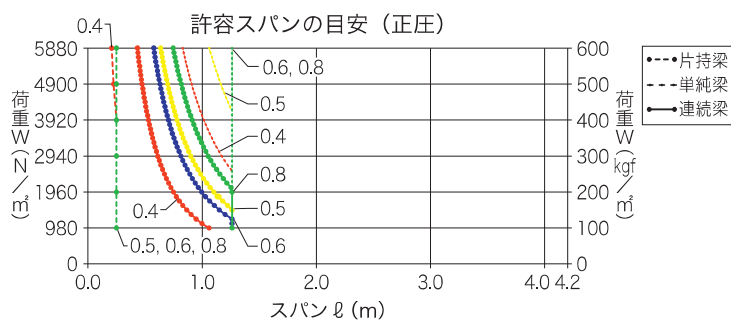
(455 幅)

板厚 (mm)	単位重量	正 圧		負 圧	
	kg/m ²	Ix(cm ⁴ /m)	Zx(cm ³ /m)	Ix(cm ⁴ /m)	Zx(cm ³ /m)
0.4	4.49	14.67	3.67	11.67	1.00
0.5	5.54	19.33	6.03	15.00	2.17
0.6	6.60	29.33	8.70	17.67	1.77
0.8	8.69	45.67	14.73	21.00	2.97

* 試験方法 J I S A-6514-1977 に準じる

■ 許容スパン（参考）正圧

分布荷重	連 続 梁				単 純 梁				片 持 梁			
(N/m ²) (kgf/m ²)	0.4	0.5	0.6	0.8	0.4	0.5	0.6	0.8	0.4	0.5	0.6	0.8
980	100	1.05	1.26	1.26	1.26	1.26	1.26	1.26	0.25	0.25	0.25	0.25
1960	200	0.74	1.10	0.99	1.26	1.26	1.26	1.26	0.25	0.25	0.25	0.25
2940	300	0.61	0.90	0.81	1.05	1.17	1.26	1.26	0.25	0.25	0.25	0.25
3920	400	0.52	0.77	0.70	0.91	1.01	1.26	1.26	0.25	0.25	0.25	0.25
4900	500	0.47	0.69	0.62	0.81	0.90	1.16	1.26	0.22	0.25	0.25	0.25
5880	600	0.43	0.63	0.57	0.74	0.82	1.06	1.26	0.20	0.25	0.25	0.25



■ 許容スパン（参考）負圧

(1 kgf/m² 9.80665N/m²)

分布荷重	連 続 梁				単 純 梁				片 持 梁			
(N/m ²) (kgf/m ²)	0.4	0.5	0.6	0.8	0.4	0.5	0.6	0.8	0.4	0.5	0.6	0.8
980	100	1.05	1.26	1.26	1.05	1.26	1.26	1.26	0.25	0.25	0.25	0.25
1960	200	0.74	1.10	0.99	1.26	0.74	1.10	0.99	0.18	0.25	0.24	0.25
2940	300	0.61	0.90	0.81	1.05	0.61	0.90	0.81	0.15	0.22	0.20	0.25
3920	400	0.52	0.77	0.70	0.91	0.52	0.77	0.70	0.13	0.19	0.17	0.22
4900	500	0.47	0.69	0.62	0.81	0.47	0.69	0.62	0.11	0.17	0.15	0.20
5880	600	0.43	0.63	0.57	0.74	0.43	0.63	0.57	0.10	0.15	0.14	0.18



※許容スパンの長さは、山高の25倍以内でご検討ください。

※軒の折板のはね出しは、山高の5～7倍以内でご検討ください。

※片持梁の許容スパン長さは、断面性能値の25%にて計算しています。